

平成 22 年度事業報告書

(財) 北海道在京学生後援会

当財団は、建寮の精神を基に、「北海寮」を維持運営し、経済的負担を軽減、より快適な生活環境を提供するとともに、時代に適応した人材の育成等育英援護事業を概ね計画どおり実施することができた。以下に、その事業の実施状況の概要を記す。

I 事業の状況

1 北海寮の維持運営事業

- (1) 本年度も、北海寮を寮管理規定に基づき、適正・健全に維持運営した。

寮生の入・退寮の状況は次のとおり。

年度当初に 20 名の新寮生を迎え、定員 72 名に対し、満室で事業を開始した。

年度途中において、メキシコ・ハンガリーからの留学生も帰国したが、自己都合等により、前期 3 名、後期 4 名の 7 名の退寮者が出ている。

年度末に、4 年生 16 名が卒寮した。卒寮生の進路状況は次のとおり。

就 職・・・ 6 名 留 年・・・ 5 名

大学院・・・ 5 名

一方、在寮生の自治管理を尊重するとともに、寮長及び寮監が寮務委員会との緊密な連携を保持し、あわせて的確かつ必要な指導・助言を行った。また、新寮務委員の選任に伴い、財団役員と新旧寮務委員との懇親会を平成 22 年 12 月 2 日に実施した。

- (2) 北海寮の中・長期補修計画に基づき、本年度も改修・補修工事を実施した。主な営繕関係は次のとおり。

ア、UGS（高圧受電設備波及事故対策）設置

イ、ロビー吹付け塗装工事

ウ、コイン洗濯乾燥機交換

エ、上下水道定水弁交換工事

- (3) 平成 23 年度入寮生の選考試験を次のとおり実施した。

・ 募集人数 24 名

・ 選考日 平成 23 年 3 月 12 日(土) 札幌市産業振興センター

- 受験者数 36名(申込者・・・77名)
- 合格者 24名

なお、本試験の実施にあたっては、選考委員として任命した財団役員、はまなす会会員及び寮務委員が、札幌会場において24名で、面接・論文審査をはじめ選考業務を担当した。

一方、募集の告知については、道内の高校(予備校)250校・関係機関に募集要領を送付するとともに、卒寮生の尽力を得て、入寮募集告知に関しNHK(全道6放送局)において放送があり、北海道新聞においても全道記事が掲載(2回)された。

(4) 入寮式及び卒寮式をそれぞれ次のとおり実施した。

ア、入寮式

- 平成22年4月4日(日)午後3時～ 「食堂大ホール」
- 新入寮生 20名
- 来賓・役員・OB等の出席者 15名
- 式典の後、祝賀パーティーへと移り、新入寮生一人一人が自己紹介と今後の抱負を語り、先輩寮生・OBから歓迎を受けた。

イ、卒寮式

- 平成23年1月8日(日)午後3時～ 「食堂大ホール」
- 卒寮生 16名
- 来賓・役員・OB等の出席者 15名
- 式典の後、祝賀パーティーへと移り、卒寮生一人一人が寮生活の思い出や感慨、在寮生へのメッセージ等を述べ、後輩寮生やOBが前途を祝した。なお、卒寮生から、在寮生に対し記念品が寄贈された。

(5) 北海寮祭を次のとおり実施した。

- 平成22年5月22日(土)・23日(日)
- 第1日目の午後3時30分からの式典に引き続き、寮祭実行委員会の企画により、18時からの行灯行列で始まり、第2日目は、地域の住民へ寮を開放し、模擬店の営業やステージにおける催し等を実施し、近隣の方々への感謝と寮への理解を促すとともに、寮生同士の絆を一層深めることとなった。
なお、寮生で構成する実行委員会に対し、財団及びはまなす会・はまなす親の会から物心両面での支援・協力があつた。

(6) 父母会を次のとおり実施した。

- 平成22年7月3日(土)午後1時～ 「きょうさいサロン」
- 出席在寮生父母 43名
- 財団側出席者 12名

- 在寮生の生活及び財団の意義等についての懇談
- 懇談会終了後、寮祭写真の回覧をまじえての懇親会(会費制)を実施した。

2 在京学生に対する指導育成事業

(1)就職活動指導のためのセミナーを次のとおり開催した。

ア、平成 22 年 10 月 30 日 「北海寮・会議室」

- 受講者 10 名
- 講 師 清水 孝太郎氏 (評議員・三菱 UFJ リサーチ&コンサルティング)
鈴木 優典氏 (山梨学院大学)
菊池 和弘氏 (産経新聞社)
加藤 智仁氏 (ジャパンエナジー)
桂 正洋氏 (理 事 長)
橋本 昌彦氏 (監 事・はまなす会会長)

イ、平成 22 年 12 月 11 日 「北海寮・会議室」

- 受講者 7 名
- 講 師 長川 洋氏 (監 事)
桂 正洋氏 (理事長)
安井 清氏 (専務理事)

ウ、平成 22 年 12 月 17 日 「北海寮・会議室」

- 受講者 5 名
- 講 師 前川 典慶氏 (理 事・東日本旅客鉄道(株))

エ、平成 23 年 2 月 5 日 「北海寮・会議室」

- 受講者 9 名
- 講 師 川嶋 雅昭 (元 NHK 研修部長)
長川 洋氏 (監 事)
安井 清氏 (専務理事)

* 今後、各大学 (道内関係者) への「セミナーの PR」及び「募集を図る」ことも含め対策について検討中である。

- (2) 寮施設内の図書室・自習室及びスポーツ室を、利用規則に則り、在寮生及び在京生に提供し、修養研鑽の用に供した。ただ、周知等の課題もあり、残念ながら、在寮生以外の利用はなかった。

なお、このことについても、今後、各大学（道内関係者）へのPRなどについて検討中である。

3 その他の事業

- (1) 寮敷地の一部を駐車場として引き続き（株）TC サービスに貸与し、賃貸料収入を得た。（収益事業特別会計）
- (2) 「寮将来計画資金」に関し、募金のお願いの書状を卒寮生対象に平成 22 年 12 月に送付した。本年度の寄付の実績は次のとおり。

はまなす会	58 件	735,000 円
北海道はまなす会	56 件	546,000 円
その他（北海道はまなす会・はまなす親の会・工藤家・宿泊者）	40 件	387,000 円
計	154 件	1,668,000 円

- (3) 卒寮生で組織される「はまなす会」と、引き続き連携を深めるとともに、種々支援・協力を得た。
一方、「平成 22 年度はまなす会総会・懇親会」が平成 22 年 6 月 11 日(土)に「ホテル・メトロポリタンエドモンド」にて開催され、在寮生 6 名が参加した。
- (4) 卒寮生の父母で組織する「はまなす親の会」が、平成 22 年 7 月 3 日(土)きょうさいサロンで開催された。財団役員も出席し、日頃の財団に対する支援に謝意を述べた。同会は、平成 11 年から活動を開始しているが、財団は同会から力強い支援と協力を得ている。